

統計の考え方第 10 回ワークシート

ひとりが 500 円当たる場合

変数						計
確率						1
積						
変数-期待値						
(変数-期待値) ²						

ふたりが 250 円当たる場合

変数						計
確率						1
積						
変数-期待値						
(変数-期待値) ²						

全員が 100 円当たる場合

変数						計
確率						1
積						
変数-期待値						
(変数-期待値) ²						

手順:

- 期待値を計算する。
- 各項で変数から求めた期待値 A を引く。
- B で求めた数を 2 乗し、最後にその数値を足したあと、変数の総数で割ると分散を求めることができる。

$$\text{分散} = \text{標準偏差}^2 = \{(\text{変数}-\text{期待値})^2 + \dots + (\text{変数}-\text{期待値})^2\} / \text{総数}$$